

モデル事業名	旧花街の伝統芸能継承と街並みの形成保存維持
活動団体名	みやづ新浜まちづくり組合（ミヤヅシンハママチヅクリクミアイ）
ホームページ	
所属／担当者名	副理事長 土井和也
連絡先	電話番号、090-4763-7109 Eメールアドレス doiroku-315@joy.ocn.ne.jp
活動地域	京都府宮津市

● 活動地域の概要

地域の状況

人口の現況と推移

	昭和 30 年	昭和 55 年	平成 17 年	平成 20 年	平成 22 年(10 月末)
人口	36,200 人	28,881 人	21,512 人	21,175 人	20,854 人
15 歳未満	11,676 人	6,111 人	2,656 人	2,457 人	2,292 人
15 歳～65 歳	21,793 人	18,442 人	11,926 人	11,697 人	11,449 人
65 歳以上	2,731 人	4,328 人	6,930 人	7,021 人	7,113 人
高齢化率	7.5 %	15.0 %	32.5 %	33.2 %	34.1 %
世帯数	7,789 世帯	9,023 世帯	8,360 世帯	8,752 世帯	8,832 世帯
就業の状況		15,595 人	10,411 人		

産業の状況

産業構造は平成 13 年時点 サービス業(33%) 卸小売業(33.5%) 建設業(10.7%) 製造業(10.5%)

平成 18 年時点 サービス業(38%) 卸小売業(29.4%) 建設業(10.8%) 製造業 (9.8%)

基幹産業は観光業で、260 万人の観光客を集めるが、観光消費単価の引き上げが課題である。

(宮津：年間 3,300 円/人～3,100 円/人に減少)

公共交通の状況

鉄 道 「宮津駅」KTR 北近畿タンゴ鉄道(株) 新浜地区まで徒歩 15 分

特急列車上下 20 本 (1 日) 普通列車上下 88 本 (1 日) 運行

京都駅まで 2 時間

バス、汽船 丹後海陸交通(株)

路線バスを運行 船は宮津～天橋立(文殊)4 本



【位置図】



新浜地区



新浜の現況

● 活動地域の課題

京都府北部の丹後地域は、天橋立などの景観と松葉ガニ料理により、年間 580 万人の観光客を集めるが、年々少子高齢化の進展や人口減少により、活力を失いつつある。一方で、数年後の高速道路網の整備によるアクセス改善効果により、京都の奥座敷としてのまた丹後の観光拠点として、宮津の効用が高まることが予測され、丹後の豊富な歴史・文化を求める旅の玄関口としての需要増も見込まれる。

こうした中、宮津の観光産業の課題は、“天橋立股覗き”だけで移動する等、滞在時間が短いことであり、結果、観光客が一日あたりに消費する観光消費単価が低くなるため、新たな観光メニューの提供が必要となっている。

● 活動の内容

(全体)

かつて宮津で繁栄した花街「新浜文化」の観光資源化に向け、花街経営で培われた「おもてなしの心」「伝統文化(唄・踊り、三味線、太鼓)」の継承・普及に取り組むとともに、新浜通りにおいては、格子戸の和風町屋建築の建造物などが点在し、風情ある街並みを形成していることから、これら街並みの保存に向けた取り組みを進める。

(直近 1 年間の進捗など)

■ 伝統芸能習得講座の開催

花街伝統文化の継承に向けた人材育成のための技芸習得講座を開催。

■ 地元高等学校での伝統芸能体験講座の開催

地元高等学校からの依頼により、日本文化授業の一環として、伝統文化を体験してもらう。

■伝統文化映像記録の作成

花街文化継承のため、元芸者による伝統文化（唄、踊り、三味線、小太鼓）、お座敷芸の実演及び当時の歴史的事柄等の話題を映像で記録。

■集客イベントの開催

花街の風情を残した空き家を借用し、地域住民や観光客に伝統芸能に触れてもらうためのイベントを開催。

■新浜地区の空き家調査の実施

風情ある街並みの保存・継承のため、空き家の状況等を把握するため調査を実施。

● 活動の成果

・全体

（活動の成果、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入）

- ・宮津新浜に培われた伝統文化の後継者不足、高齢化という地域の課題に対し、継続可能な受講生も増加した。特に地元の若者（高校生）への周知と体験学習の重要性を感じ、実施できた。
- ・新浜地区で花街の風情を残した空き家を借用し、賑わいイベントとして受講生の発表会や地域住民、観光客に伝統芸能に触れてもらう機会として、体験講座を開催した。



「伝統芸能習得講座」の受講生の発表会



旧花街の風情を残した空き家を借用

・直近1年間の成果など

（活動の状況、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入）

- ・グループを組み独自で引き続き稽古をするという機運が高まり、継続している。



宮津踊り講座風景



三味線講座風景

- ・地域住民および行政との協働で、街並みの保存継承に向けた実態調査を実施した。

● 今後の課題及び展望

・課題（活動を通して発見された課題等を記入）

- ・継承講師と受講者の高齢化がある。
- ・地元の若者（特に高校生）への周知と体験学習の重要性がある。
- ・街並み形成は地元や地権者の理解が必要である。
- ・事業の実施に多数のスタッフが必要である。

・展望（今後の取組みや検討について記入）

- ・継続可能な受講生が、少しずつ増加が見込まれる。特に地元の若者（小学生・高校生）の体験を取り組みたい。
- ・新浜地区の街並みは行政の理解を得ながら、地元や地権者の理解に努力する。
- ・事業の実施に必要なスタッフの参加も目処がつく。

● その他（自由記述）

- ・街並みは地元や地権者の理解が必要で、条例による規制も必要と思われる。
- ・当事業は、将来事業化して収入を図るが、当面多額の資金と合わせ長期間が必要であり、行政や有力者の協力が得たい。